

題 帰ってきた小田原みなと祭り

機関士 島田 績

令和5年8月6日（日）小田原みなと祭りが4年ぶりに開催されました。相模湾試験場では漁業調査指導船「ほうじょう」の一般公開を行いました。

「ほうじょう」のパンフレットの配布や、水中ドローンと空中ドローンの展示のほか、試験場員が研究内容をパネルとモニターを使って説明しました。



漁場調査指導船「ほうじょう」



一般公開受付



小田原漁港、漁船



漁船と大漁旗

午前中は前日の鉄道事故の影響のため出足が鈍く、また天候も不安定であったため、観覧に来られた皆様はずぶ濡れの状態でしたが、船内で試験場員の説明によく耳を傾けていました。交通機関の乱れが収まるころには、少しずつ青空が広がりはじめ多くの方々が船内観覧に足を運んでくださり大変賑わいました。



タラップ乗船前



「ほうじょう」船室内、観覧

小さなお子様連れのご家族も多く、太陽にキラキラと反射し波打つ漁港を甲板内のデッキから眺めたりするお子様方の小さな顔には笑顔があふれていました。大人の皆様からは試験場の研究や「ほうじょう」についてのご質問が多かったです。

Q 「ほうじょう」の航海範囲を教えてください。

A 東京湾では羽田沖、相模湾では大島辺りまで航海しました。

Q 採泥作業はどのように行うのですか。

A 船上からクレーンに採泥器を吊るして海に沈め採取します。

Q ?

A ゲームセンターの巨大版 UFO キャッチャーのイメージですね。

Q なるほど!! (笑)

このような和やかな雰囲気の中私たちも来船者の皆様との会話を楽しむことができました。また来船者の中には観覧の最後に甲板上で小田原漁港をバックに記念撮影をして下船される方もおられました。また来年、再会できることを楽しみにしております。

今後もさまざまな行事の折には、「ほうじょう」の活動や研究について県民や漁業関係者の皆様にご理解いただけるよう発信を行って参ります。